

誰もが自殺に追い込まれる ことのない社会を目指して

2017年5月20日(土)

会場 人権ライブラリー (KDX 芝大門ビル 4F) 入場 無料

定員 70名(事前申込)

定員に達し次第締め切ります。空席がある場合は、当日参加を受け付けます。

開場 13:30 開演 14:00 (15:30 終了予定)

開催にあたって

暮らしのグリーフサポートみなと連続講座では、「グリーフとは何か?」ということをご一緒に考えていきたいと思っております。

第1回は、講師にライフリンク代表清水さんを迎えます。清水さんはNHK 在籍中に自殺に関する取材経験をされています。自殺の原因、遺された家族の思い、世論の見方等、多角的な視点から自殺対策の必要性について講演していただきます。私たちひとりひとりにできることを、この機会にご一緒に考えてみませんか。沢山の方々のお越しをお待ちしております。

代表理事 森 美加



第1回 講師

清水 康之

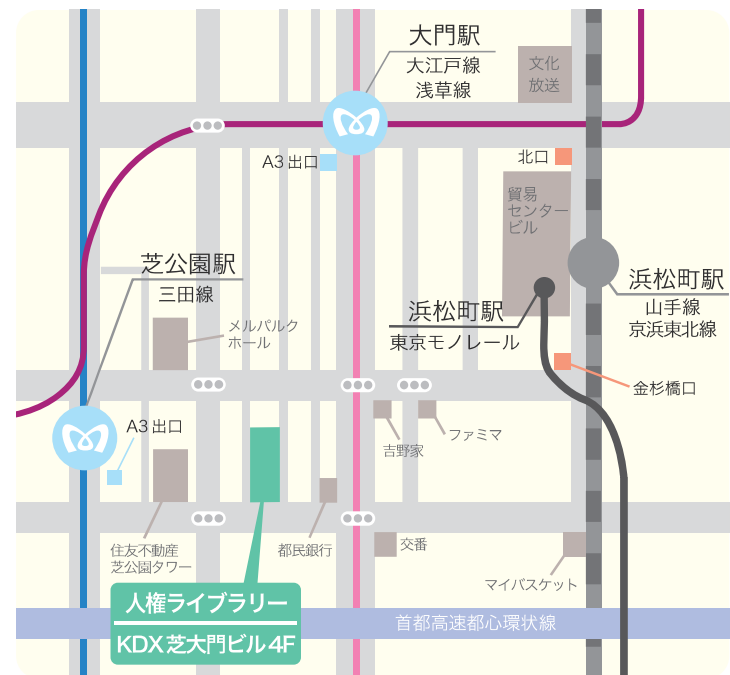
Shimizu Yasuyuki



NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表
元NHK報道番組ディレクター
(主に「クローズアップ現代」を担当)

2001年、自死遺児たちを1年がかりで取材して『お父さん、死なないで～親が自殺 遺された子どもたち～』を放送。それまで匿名で活動していた自死遺児の素顔をはじめて社会に伝えた番組は、大きな反響を呼ぶ。その後も、遺児や自殺で亡くなった人の遺書、自殺対策等について取材を続けるが、「推進役」のいない日本の自殺対策に限界を感じて、2004年春にNHKを退職。自らが自殺対策の「つなぎ役」となって活動していること、同年秋にNPO法人自殺対策支援センターライフリンクを設立し、代表に就任する。2006年、「自殺対策の法制化を求める3万人署名(結果10万人分集まる)」を企画・展開して、『自殺対策基本法』の成立にも大きく貢献。2016年には超党派議員と連携して自殺対策支援法の大改正を実現。持論は「自殺対策とは『生きる支援』『いのちへの支援』である」ということ。作家やジャーナリスト、法律の専門家や医療関係者、ライター等との、幅広い人脈を活かして精力的に活動している。

会場までのアクセス



◇JR山手線・京浜東北線/東京モノレール 浜松町駅 金杉橋口 徒歩8分 北口 徒歩10分

◇都営三田線 芝公園駅 A3出口 徒歩4分

◇都営大江戸線・浅草線 大門駅 A3出口 徒歩5分

お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご連絡先(メールもしくはお電話番号)を明記の上、

info@griefminato.org までご連絡ください。



暮らしのグリーフサポートみなと
griefminato.org